

教師の学び合いコミュニティは、 いかに作られるか

「実践の共有」って楽しい！
～「学びの共同体」をめざして～

嶋田 和子

アクラス日本語教育研究所

kazushimada@acras.jp

本日のメニュー

1. アクラス研修の概要

2. 実践持ち寄り

①初級における「漢字学習」

②初級スタート時から始める「読み学習」

アクラス (ACRAS) とは？

アクラス日本語教育研究所

- ◆事業をする団体ではなく、さまざまな方々が出会い、対話を重ねる場を提供する。
- ◆さまざまな情報を発信し、人をつなぐことをめざす。

アクラス研修がめざしていること

- ◆ 講師も参加者も、ともに学べる研修であること。
- ◆ 「対話」を大切に、気づきが生まれる研修であること。
- ◆ それぞれの実践に生かせる研修であること。
- ◆ 日本語教育以外の人ともつながることができる研修であること。

アクラス研修：3つのパターン

a. 公開研修 お知らせ(参加者募集)、
報告記事をHPにアップ

武田さん
の発表

b. 非公開研修

b-① 有志による研修、報告記事はHPにアップ

b-② 有志による研修、報告なし

アクラス研修b①②紹介：実践の共有

実践例の共有

①初級における「漢字学習」に関する実践例

②初級スタート時の「読み学習」に関する実践例

b-① 非公開研修（HPに報告記事）

◎実践の共有 → 学習者の立場で体験

→ 自分の実践の振り返り → 実践への活かし方

◆海外における「漢字に関する教育実践」紹介

→ 学習者になって、漢字学習に取り組む

◇地域日本語教室における「演劇で学ぶ漢字学習」紹介

→ 日本語教育機関における活かし方を考える

<http://www.acras.jp/?p=3760>⁷

事例

海外における「漢字学習」に関する実践の共有 → 体験・振り返り・次のステップへ



私自身、漢字がとても好きなので、生徒達には**日本語知識ゼロの初回の授業から漢字を導入**しています。**漢字一つ一つにストーリー**があり、それを披露するのが私の楽しみのひとつです。学校を去って行った生徒達に、どこかで久しぶりに会ったりすると「文法とかは忘れちゃったけど、漢字だけは覚えている。先生の漢字の授業が一番楽しかった」とよく言われます。好きな事ほど上手く教えられるようですね。



皆さんだつたら、どうしますか？

漢字を2つ以上使って、言葉を作る。

日本、 学生、 中国語...

「午前」にしたら、
「午後」ができない
な～～

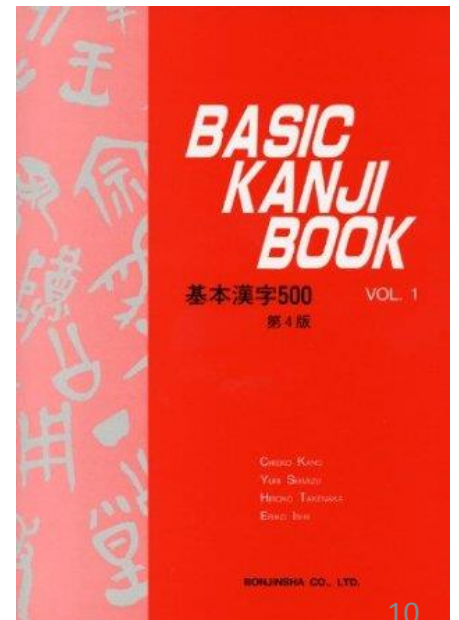
じゃあ、「午後」と
「名前」にしたら？

Basic Kanji Book v. 1

18課 あたり

学習した漢字 約200字

千九百八十五年



◆自分を表現することの大切さ

◆漢字100個を60分で！

ストーリーで覚えると楽しい！

書けなくてもよい。とにかく漢字に触れる。

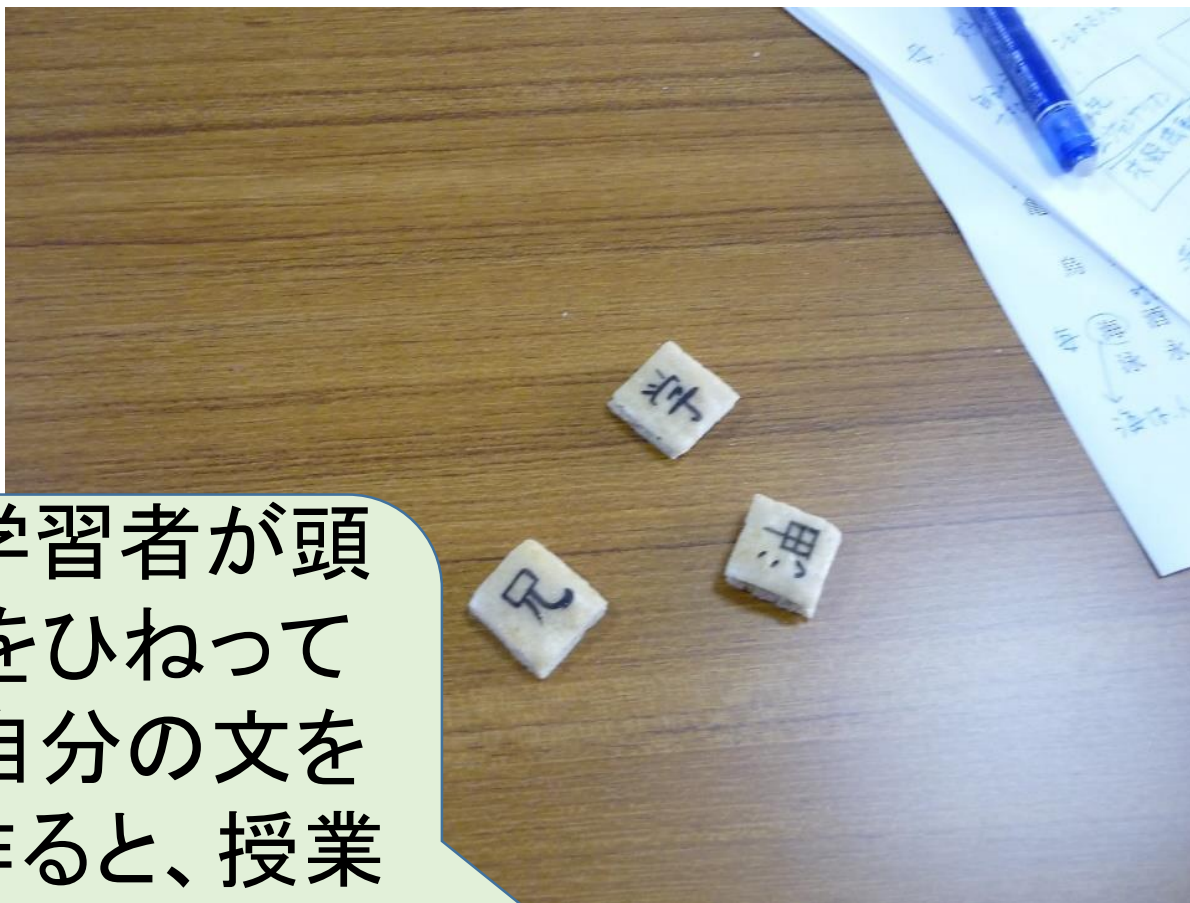
「日本語の楽しさ」を伝える。

今回は、この漢字ビسケットを持参(お土産)しての参加でした。そこで……。

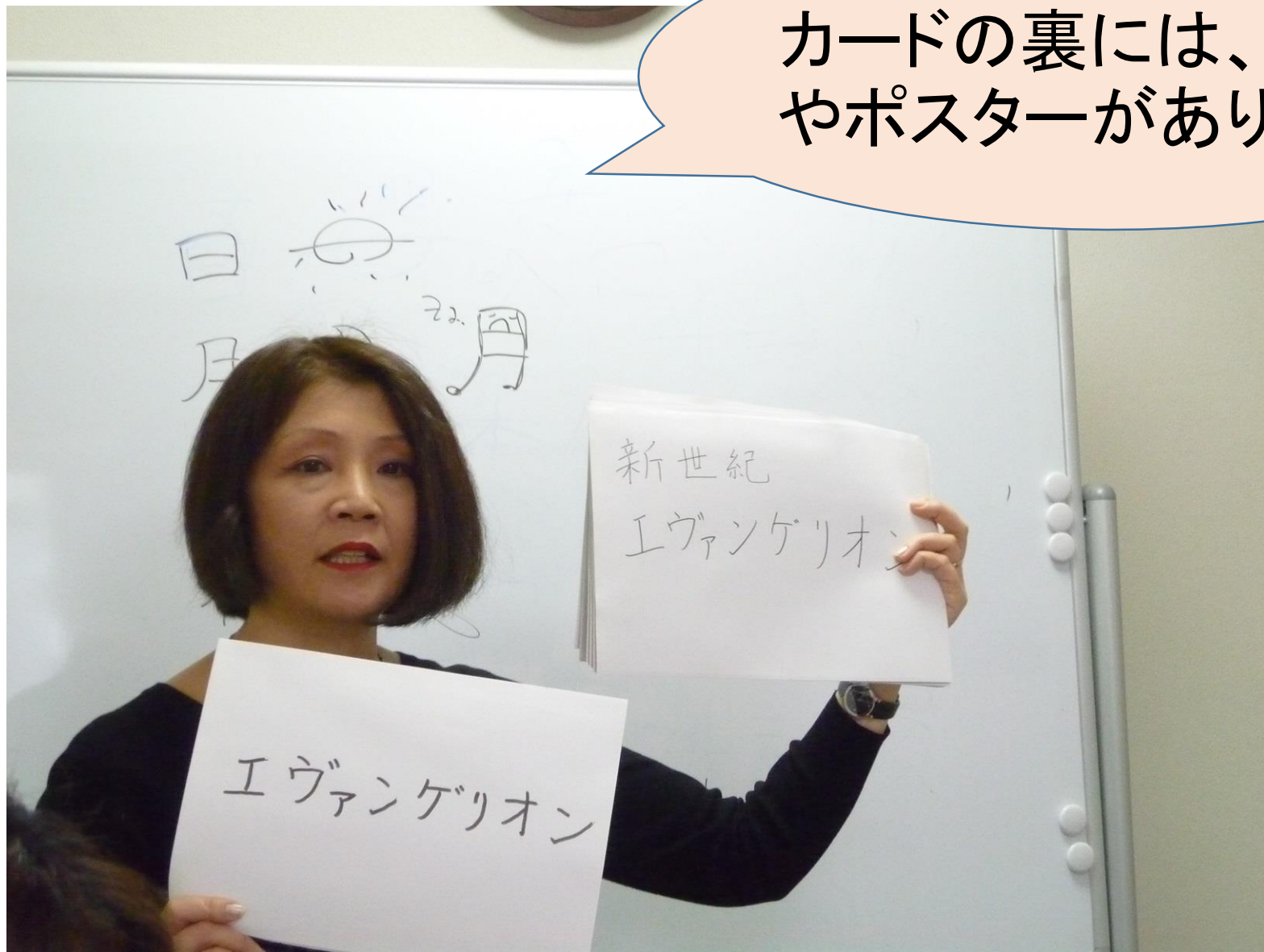
3つずつ「漢字ビスケット」を取って、ワークを考えました。



学習者が頭
をひねって
自分の文を
作ると、授業
は楽しくな
る！！



カードの裏には、写真
やポスターがあります。





『漢字たまご 初級』(アルク)の実践持ち寄り

○3つの柱

- 何ができるかが明確になっている。
- 漢字の接触場面から学ぶ。
- 漢字学習ストラテジーを身につける。



自分たちで話を作ろう！



体を使って漢字を覚える実践



b-② 非公開研修(報告なし)

『できる日本語』の実践持ち寄り会

- ・A日本語教育機関の常勤・非常勤講師が実践を持ち寄って、「対話」を進めていく。
- ・『できる日本語』を使用しているさまざまな日本語教師が集まって、実践を共有する。

事例

初級の読み学習：実践の持ち寄り ～『たのしい読みもの55』をもとに～

初級から「読み
学習」をするに
は、どうしたら
いいのだろうか？

日本語学習を
始めたばかりの
学習者が、はた
して興味を持
つのだろうか？

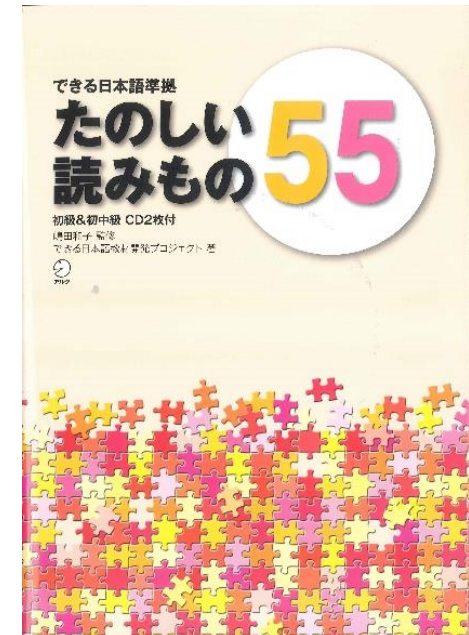
3つの柱

- 1) 接触場面での読みを大切にする。
- 2) 「読み」から生まれる多様な対話を大切にする。
- 3) 自律的な読み学習につなげる。

55のアイテムを2つに分ける

第1部 「日本で暮らす」

第2部 「日本を知る」



第2部 【日本を知る】

1. 白いです。耳が長いです。
目が赤いです。

2. 赤いです。そして、丸いです。
甘い果物です。

4. 色は白やピンクなどです。とても
きれいです。季節は春です。
日本の「国の花」です。

問題を作ってクラスメイトに出してみましよう。→

このタスクに気づかなかった参加者も「実践の共有」で、より良い実践に！

日本を知る①

日本語でクイズをしましょう！

8/01

これは何でしょう？

-  白いです。耳が長いです。目が赤いです。
答え
-  赤いです。そして、丸いです。甘い果物です。
答え
-  赤いです。そして、丸いです。甘い果物です。
答え
-  色は白やピンクなどです。とてもきれいです。季節は春です。
日本の「国の花」です。
答え
-  赤いです。そして、丸いです。甘い果物です。
でも、とてもかわいい動物です。ふるさと中国です。
答え

問題を作ってクラスメイトに出してみましよう。

58

- ① 教材(2番)を読んでいるところ
- ② 問題を考えているところ
- ③ 学習者が作った問題の答えを
考えているところ

実践の共有に、映像は効果的！



ベトナム人女子学生(問題作成者)の表情に注目してください。

「学びの共同体」づくり

◆何が大切か？

「協働性」 & 「同僚性」

◆どんなことを心がければいいのか？

- ・教育実践の共有
- ・多様な対話の積み重ね
- ・「個人の知見」から「組織の知見」へ

→＜ピラミッド型＞から＜車輪型＞へ

「実践持ち寄り」の進化と深化

求められる姿勢

- 現状に甘んじることなく、常に新しいものに挑戦していくこと
- 常に学び続け、いかなることもクリティカルに問い続けること
- 情報に溺れることなく、取捨選択する力をつけること
- 「違い」を認め合い、意見の対立を恐れることなく議論すること
- 研ぎ澄まされた感性で、発見の喜びを持ち続けること

『目指せ、日本語教師力アップ！』（ひつじ書房）p.256

参考文献・資料

アクラス日本語教育研究所ホームページ

<http://www.acras.jp/>

嶋田和子『目指せ、日本語教師力アップ！—OPIでいきいき授業』

2008年、ひつじ書房

嶋田和子『プロフィシエンシーを育てる—真の日本語能力をめざして』

2008年、凡人社

嶋田和子他『できる日本語 初級』2011年、アルク

嶋田和子他『漢字たまご 初級』2012年、凡人社

嶋田和子他『たのしい読みもの55 初級&初中級』2013年、アルク